

## 麦類赤かび病の防除を適期に行いましょう！

表に、3月中旬時点での農業研究所および病害虫防除所の調査圃場における予測出穂期と赤かび病の防除適期を示しました。予測出穂期は、今後の気温が平年並に推移した場合の計算値です。

気象予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想され、出穂期が早まる可能性があります。また、3月の低温により幼穂が凍害を受けた圃場では、不稔粒が発生することで赤かび病に感染しやすくなっています。これらのことから、圃場毎に生育ステージを確認し、赤かび病の適期防除に努めましょう。

### [現在の状況]

- ① 3月中旬現在、農業研究所および病害虫防除所の調査圃場における大麦の予測出穂期は、3月下旬～4月中旬（表）である。
- ② 予測出穂期から算出した予測防除適期を表に示した。なお、今後の気温が平年より高く推移した場合、表に記載した出穂期および防除適期は、数日早まる可能性がある。

表 オオムギの予測出穂期と赤かび病の予測防除適期

麦種	品種	地域	調査地点	播種期	予測出穂期 <sup>1)</sup>	予測防除適期 <sup>2)</sup>	
六条大麦	カシマゴール	県央	水戸市小林町	11/14	4/15	4/18	
		県南	龍ヶ崎市大徳町	11/ 9	3/24 <sup>3)</sup>	3/27	
			河内町源清田	11/22	4/15	4/18	
		県西	常総市豊田	11/14	4/ 5	4/ 8	
	筑西市伊讃美		11/15	4/17	4/20		
	カシマムギ	県南	龍ヶ崎市大徳町	11/ 9	3/30 <sup>3)</sup>	4/ 2	
			県西	八千代町高崎	12/ 1	4/17	4/20
		二条大麦	ミカモ ゴールドン	県央	那珂市飯田	11/15	4/17
県南				龍ヶ崎市大徳町	11/ 9	3/26 <sup>3)</sup>	4/ 6～4/ 8
	稲敷市佐原組新田	11/16		4/ 7	4/19～4/21		
県西	筑西市小栗	11/27		4/18	4/30～5/ 2		
		桜川市大国玉	12/ 5	4/22	5/ 4～5/ 6		

1) 農業研究所ホームページに掲載されている「麦類主要品種の主稈長による茎立ち期、幼穂長による出穂期予測法」の計算式を用いて予測した。各調査地点付近のアメダス観測所（日平均気温）は、予測計算日前日までの実測値及び予測計算日以降の平年値を用いた。

2) 予測防除適期は、六条大麦は出穂期の3日後、二条大麦は出穂期の12～14日後とした。

3) 農研速報（3月12日発表）のデータを用いた。

(防除所レポート続き)

[防除対策]

- ① 防除適期は、六条大麦では出穂～穂揃期に開花を確認した時（出穂期の3日後頃）、二条大麦では穂から葯殻が出ていることを確認した時（出穂期の12～14日後頃）である（図）。予測される出穂期及び防除適期は麦種や播種期によって異なるため、圃場ごとに出穂状況を確認して適期に防除する。
- ② 赤かび病菌の子う胞子の飛散好適条件は、「日最低気温 10℃以上、日最高気温 15℃以上の条件を満たし、降雨日とその翌日か湿度 80%以上の日」である。飛散好適条件が続く場合や不稔粒の発生が懸念される場合は、1回目の薬剤散布 7～10 日後に 2 回目の散布を行う。
- ③ 薬剤を選定する際は、使用回数や収穫前日数に十分注意する。また、2 回以上散布する際は、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、FRAC コードの異なる薬剤を用いる。

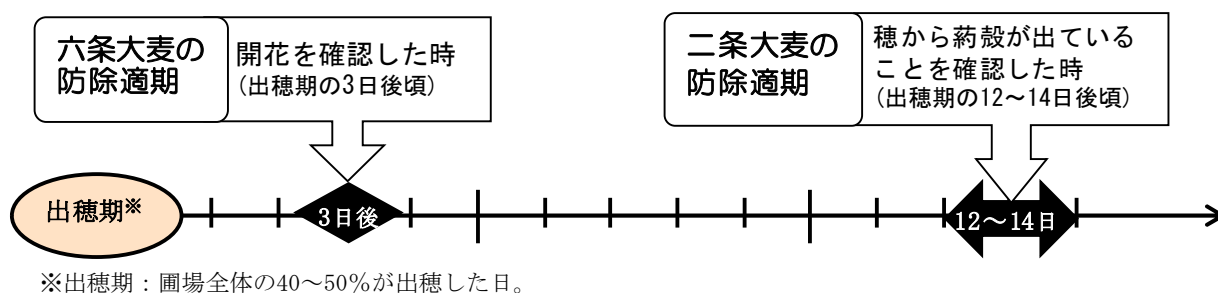


図 大麦赤かび病の防除適期

【お知らせ】

小麦の予測出穂期および赤かび病防除適期については、4月上旬に病害虫速報での発表を予定しております。防除所のホームページ等からご覧ください。